



神奈川県

県土整備局都市部交通企画課



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

かながわ交通計画

地域の個性を伸ばし、活力と魅力あふれる強靱な県土づくりに向けて

令和4年3月改定

県民の皆様へ



県は、県土・都市づくり分野の長期ビジョンである「かながわ都市マスタープラン」を交通施策の面から支えるための「かながわ交通計画」を昭和 61 年に策定し、市町村や交通事業者などと連携しながら、総合的な交通ネットワークの形成に取り組んできました。

前回改定(平成 19 年)では、「交通網の充実による県内外・地域間の連携強化」「利便性、快適性、安全性の確保」「都市交通に係る環境負荷の低減」の三つを都市交通の目標として掲げ、その実現に向けて「施設整備」と「既存施設の有効活用」の二本柱で様々な交通施策を展開してきたところです。

そうした中、少子高齢化・人口減少社会の本格化をはじめ、自然災害の激甚化・頻発化、脱炭素化やデジタル化への取組の加速、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大によって急速に働き方やライフスタイルの多様化が進むなど、社会経済情勢は大きく変化し、これらへの対応が必要になってまいりました。

そこで、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現という基本理念のもと、このたび 2040 年代前半(概ね 20 年後)の総合的な交通ネットワークの形成をめざし、地域の個性を伸ばし、活力と魅力あふれる強靱な県土づくりに向けて、「かながわ交通計画」を改定しました。

本計画では、上記の課題等を踏まえ、新たに「地域交通ネットワークの確保・充実」を都市交通の目標に加え、地域の輸送資源の総動員による地域公共交通の維持確保や、MaaS 等の最新技術の導入などの施策を展開することにより、地域の多様な移動ニーズに対応することとしています。

県は、今後も市町村や交通事業者などと連携しながら、神奈川の県土・都市づくりに必要な鉄道網や道路網の整備に取り組むとともに、あらゆる人が安全・安心に、自由に移動でき、コミュニティの活性化を支える都市交通の実現をめざしてまいります。

皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和 4 年 3 月

神奈川県知事 荒井 哲也

はじめに

2007（平成 19）年に改定した前計画では、増加する交通需要への対応に主眼を置き、交通網の整備や交通需要マネジメントの取組などを推進してきました。

これにより、鉄道では神奈川東部方面線（西谷-羽沢横浜国大）の開業、道路ではさがみ縦貫道路の全線開通など、着実に交通インフラの整備が進んでいます。また、過度な自動車利用からの転換を図るため、観光地におけるパークアンドライドや、都市部を中心にシェアサイクルの導入なども進められています。

前回計画に基づき実施した主な施策

施設整備	既存施設の有効活用
交通網の整備 【鉄道網】 横浜環状鉄道(日吉-中山)の開業 神奈川東部方面線(西谷-羽沢横浜国大)の開業 等 【道路網】 さがみ縦貫道路の全線開通 新東名高速道路(海老名南 JCT-伊勢原大山 IC)の開通 高速横浜環状北線・北西線の開通 等 交通施設整備 鉄道 103 駅でホームドア設置 国道 129 号(戸田立体)の整備 等	交通需要マネジメント等 鎌倉など観光地におけるパークアンドライドの実施 都市部を中心にシェアサイクルの導入 等 既存道路の有効活用 ETC を利用した道路料金施策の導入 自転車通行空間の整備 等 公共交通の連続性や利便性の向上等 相互直通運転などによる鉄道の乗り継ぎ円滑化 コミュニティバス等による生活交通の確保 等

しかし、改定から 10 年以上が経過し、少子高齢化や人口減少といった社会構造の変化に加え、ICT 化の著しい進展や新型コロナウイルス禍に伴う新たな生活様式の定着などにより、今後の交通需要は見通しにくくなっています。

また、交通事業者の厳しい経営環境などから路線バスの減便や廃止が続いており、集約型のまちづくりを進める中であって、地域におけるモビリティの確保がこれまで以上に重要な課題になっています。

そこで、このような状況に対応した計画とするため、日本初の「交通政策基本法」の制定や、上位計画である「かながわ都市マスタープラン」の改定なども踏まえ、本計画を改定することとしました。

今回の改定では、引き続き神奈川の県土・都市づくりを支える交通網の整備に取り組む一方で、あらゆる人が安全・安心に、自由に移動できるよう、身近な移動を支える地域交通ネットワークの形成を図ることに重点を置いています。

この先、自動運転やドローン、MaaS など、スマートモビリティに関する技術開発や実用化に向けたルールづくりが着実に進捗し、様々なシーンにおいて社会実装されることが期待されます。

神奈川における望ましい都市交通の姿を実現するため、こうした時代の動きも踏まえながら、本計画を指針として、市町村や交通事業者など多くの関係者と連携した交通施策を展開していきます。

神奈川における望ましい都市交通の姿

